

# グループホーム 銀杏の木

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		全職員が理念を意識し、仕事に取り組んでいる。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		今年から発行している広報誌「銀杏便り」に理念を明示していく。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		近くの小学校や幼稚園などとの交流を図っていきたい。

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近所の方や、地域の方が見学に来られた時などには相談に乗っているが、特別に話し合いは行っていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の目的や実施する意義について、全職員への理解を育てている段階である。(勉強会などで)		評価をより生かせる様、スタッフ会議等で話し合い改善に取り組みたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回の運営推進会議では、サービスの状況の報告や情報交換など活発に意見の交換の場になっている。		会議で出た意見や内容については、玄関横の掲示板に貼り出している。 又、そこでの意見をサービス向上に生かせる様に努めている。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	八女地区介護保険事業連絡協議会のグループホーム協議会に加入し、毎月1回、第三火曜日に定期的に勉強会があり、管理者や職員が参加し、その場で行政との情報交換など行っている。		市町村(行政)とは、今後も密に連携していきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関しての学習の場を設けているが、活用できる様に支援出来るまでには至っていない。		11月、12月の2回、講習会を行う予定である。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が、虐待防止について理解しており、虐待を行ってはいらないとの意識を持ち努めている。		新聞やテレビのニュース等で報道されている虐待の内容等を職員間で話している。

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	十分な説明を行い、不安や疑問点には答え理解、納得してもらえる様に努めている。		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見や相談、苦情を受入れる窓口や職員については明確にしているが、外部者へ表せる機会は設けていない。		相談や苦情などを受入れる担当者を置いている。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	暮らしぶり、金銭管理などは、面会時や電話などで行っている。又、身体の状態や精神的状態に変化が見られる時などは、常に状態に応じて電話などで報告を行っている。		施設内に写真を提示したり、施設便りや行事などの写真を定期的に送付している。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	玄関横に「いけんばこ」を設置している。苦情や相談の窓口についても担当職員を表示している。		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	月1回のスタッフ会議にて、意見交換を行っている。		個人的な意見など随時、職員の話しを聞きスタッフ会議にも反映させている。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	利用者の状態や要望に対応出来る様、支援に支障が出ない様に極力必要な人数を調整する様に努めている。		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	運営者、管理者が話し合いを行い、利用者への影響を最小限に抑えられるよう配慮している。		異動については、やむを得ない場合を除き行なわないようにする。

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の募集、採用にあたっては、性別や年齢等を理由に断ることはない。また、経験・未経験に係わらず、本人のやる気を重視して、個々の能力を發揮してもらうようしている。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>本年、11月と12月に社会保険労務士へ依頼し、権利擁護の講習会を開催した。</p>		<p>今後も継続的にこのような講習会を実施したり、研修等へ参加をさせていく。</p>
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修については、積極的に参加させるようしている。また、研修参加者より発表をしてもらい、参加できなかった者への内部研修も実施している。</p>		<p>他のグループホームとの間で職員の交換研修を実施している。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎月1回第3火曜日に実施されているグループホーム研修会には必ず参加するようにし、勉強会を通じて、サービスの質の向上を図っていきけるよう努力している。</p>		<p>施設間での相互訪問の場を増やしていきたい。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日勤の時間帯に精神的にリラックスできるような軽音楽を全館で流している。また、職員で抱える問題については、月1回開催されるスタッフ会議の場において自由に発言ができるような雰囲気をつくるようしている。</p>		

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎年自己評価を実施し、これまでの成果やこれからの目標を明確にさせ、向上心をもって働けるように努めている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に本人と面接を行い、不安が軽減する様に話を聞くよう努めている。		出来る限り入所前にホーム内の見学をして頂いている。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前に家族が困っている事などを聴き、必ず相談に乗る様に努めている。		家族にもホーム内の見学をして頂き、説明を行っている。
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応の見極めと、他のサービス利用への対応にも努めている。		自施設で対応出来ないケースでも相談にのり、他のサービスの紹介等を行っている。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得して入所出来る様に、他利用者も交えながら馴染みやすい雰囲気作りに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員は、お互いに協力しながら生活しており、洗濯物畳み、モップがけ、調理の下ごしらえなど、それぞれの利用者に出る範囲の役割りを持ってもらい、その中で喜怒哀楽を共有している。		利用者には、出来る範囲で役割りを持ってもらっている。

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とは、連絡を取り合い、話をしながら職員と共に本人を支えていく関係が築けている。		全ての利用者の家族に対して、同じレベルでできている訳では無い為今後も努力していきたい。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	お互いのより良い関係が築いて行ける様に支援している。		今以上に、より良い関係が築けるように支援を続けたい。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時など、ゆっくり話ができる場所と時間を提供している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	それぞれが孤立したりしない為の配慮をしている。		テーブルの座席、外出時のメンバー配置などに取組んでおり、不都合があったときには、その都度対応している。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了者への電話での連絡、自宅訪問、お見舞い等を行っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者が希望や意思を伝えられる様に努めており支援しているが、まだ出来ているとは言えない。		

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との関わりや家族との話し合いの中で、大体の生活歴の把握は出来ている。		日常の会話や関わりの中で、色々な話を聞かせてもらえる環境を作って生きたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人のケア記録や申し送り等できちんと出来ている。		職員の観察力や意識力のレベルアップに努めたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	実践可能な介護計画を作成している。短期目標におけるケア内容の具体化にも努めている。		認定審査会の書類を整えている。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月後の見直しを行っている。又、入院などにより変化が生じた時にはその都度新たな計画を作成している。		毎月のモニタリングを行っている。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その時の状態や言われた言葉などありのままに記入する様にしていく。ただし100%介護計画に反映出来ているとはいえない。		記録についての講習会などにより、記録についての勉強を行っていききたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望には、出来るだけ柔軟な対応をする様に努力し、支援している。		

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の、文化サークルに参加している。又、自施設を拠点としてゴミ拾い等のボランティア活動を実施している。		地域の活動等に積極的に参加し、さらに交流の場を広げグループホームに対する協力や理解を得ていきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	来訪時や電話などを通じて話し合いを行い、必要に応じた対応を行っている。		月1回のグループホーム協議会の勉強会の中で他のケアマネジャー、他事業者との交流を行っている。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	実施していない。		必要に応じて、協働していきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望病院を受診している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医等の確保は出来ていない。		早いうちに専門医を探し、職員の相談や、利用者の受診が出来る体制にしていきたい。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	現在は、行えていない。		地域の病院と連携をとりながら行っていきたい。



## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	病院関係者との情報交換や話し合いは行っている。		病院、家族との話し合い、協力体制を築いていきたい。
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化、終末期ケアの指針の説明を行い看取り介護についての同意書を準備し、同意を得ている。		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	事業者として、「出来る事、出来ない事」についての見極め、医療機関と相談しながらの支援、取り組みは行っている。		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	家族や本人を交えての十分な話し合いを行い、本人の希望を重視して住み替えによるダメージが最小限になる様に取組んでいる。		
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	一人ひとりを尊重した言葉掛け、対応を心掛けている。又、個人情報の取り扱いについても管理できている。		言葉かけや対応については、特に注意し気をつけるようにスタッフ会議などで話し合いを行っている。

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者各自が自分で決めたり、納得しながら暮らせる様に支援している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者、一人ひとりのペースを大切に、自由に好きなように過ごしてもらえる様に支援している。		今後も徹底して支援していく。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族の協力にて、本人希望の店に行かれる方もあるが、殆どの方はホームに理美容の方に来てもらっている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付け等は、利用者に来る事を職員と一緒に行うように支援している。又、ソーメン流しやバーベキュー等でいつもと違った食事を楽しんでもらっている。		積極的にされる利用者もいるが、参加できる人を増やしていきたい。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、タバコを希望される方はいない。おやつは、ホームで出しているが本人が持っている方もいる。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	声かけや本人の訴えなどにてその都度対応し、気持ちよく排泄出来る様に支援している。		

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜間に入浴は行えていないが、本人の希望を優先した回数や長さでの支援を行っている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	各利用者とも自分の居室が安心して落ち着かれる場所となっている。そのため安心して休息され眠られている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や意欲能力に合わせた役割り、楽しみごとと気晴らしへの支援は行っている。		利用者の表情や言葉などを観察し記録に残したり、スタッフ会議などにて話し合い、支援に繋げていけるように努力している。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持し、使われているのは1名だけであり、殆どの利用者については、職員や家族が行っている。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の許す限り、散歩は毎日実施している。又、買い物などへも出かけている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠出はなかなか出来ていないが、花見や演芸会などへの外出を行っている。家族との定期的な外出や外泊を楽しまれている利用者もおられる。		

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話での対応は、数名ではあるが支援している。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	一部の利用者を除き、家族や知人の面会は頻繁にあっている。又、面会時にはゆっくりと過ごしてもらえる様に程よい距離を置くように努めている。		面会時にはホームでの様子や現在の状態の報告も行うようにしている。
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、全職員が理解し実践している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ玄関の鍵を閉めている。		玄関にセンサーを設置し、人の出入りに対応できる様にしている。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は昼夜共に利用者を見守りやすい位置に居る様にしており、利用者の様子、所在確認は出来ている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ、カッター、包丁などは日常で使用しているが保管場所を決めている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	何らかの事故があった場合、事故報告書へ記録を残し全職員に周知徹底を行いスタッフ会議等においても話し合い、同じような事故の再発防止に努めている。		

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当の方法については提示板に提示している。緊急時の対応マニュアルは職員の分かる場所に常時設置している。		応急手当や初期対応の訓練を定期的に行なえる様にしていきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に行っている。(年2回)		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者により起こり得る、リスクについては適宜、家族等への説明を行っている。又、その利用者に応じた対応策については随時話し合いを行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの体調変化や異変の早期発見に努め、異常が見られるときには速やかに主治医への報告を行い、受診するなど大事に至らぬ様に配慮している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬による症状の変化や、状態の変化等の確認は必ず行う様努めている。		副作用等について、分からない事は医師に尋ねている。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェックを行っている。水分を多く摂ってもらい、運動、腹部マッサージ、服薬にて対応している。		

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行い実施している。必要時には口腔ケアの介助も行っている。義歯は定期的に義歯洗浄剤につけている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量や形態に考慮している。又、食事の摂取量や水分量が把握できるように記録に残すようにしている。栄養バランスを考慮している食材を業者に発注している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、手指消毒の徹底、ノロウイルス発生時の汚染処理ツールBOXを常備している。		感染症予防の研修を受けた職員による勉強会の実施。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は、冷蔵庫にて保管している。調理具は、乾燥機に入れ使用している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に花を植えたり、ベンチをおいていて外で鑑賞できるようにしている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには、その月にあったカレンダーを張っている。又、リラクゼーションの為に音楽も流れており、居心地よく過ごせるように努めている。		テーブルに季節の花を飾っている。

## グループホーム 銀杏の木

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	特別に、その様な空間をつくっては無いがリビングや玄関先にソファを準備し利用者が自由に過ごせる様にしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が使用されていた、なじみのタンス等を居室おかれている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室の換気は毎日定期的に行い、夜間の温度調節や加湿なども適宜行っている。リビングの空調管理もこまめに行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室など要所には手すりを設置している。フロア内は段差をなくしている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室の入り口には表札を掲げている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	周りに花を植えたり、ベンチを置いてくつろげるようにしている。暖かい日には日向ぼっこをしている。又、ベランダに物干し竿がある為、洗濯物干しも手伝ってもらっている。		

グループホーム 銀杏の木

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



## グループホーム 銀杏の木

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・地域の行事、イベントへの参加が出来ている。
- ・家族や、地域の方達が参加出来る行事を実施している（ソーメン流し、縁日など）。
- ・散歩時のゴミ拾い、空き缶拾いの実施が地域の方達に浸透し、活動に結びついている地区ができています。